

第4回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年5月26日(火) 11時00分～12時00分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 7名

■出席委員(敬称略)

早乙女	洋	会	長(栃木市総合政策部長)
小林	勝夫	委	員(栃木市教育委員会教育部長)
茅原	剛	委	員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)
寺崎	耕	委	員(栃木警察署長)
増山	政廣	委	員(栃木市消防本部消防長)
森川	剛	委	員(栃木青年会議所理事長)
大橋	良久	委	員(下野農業協同組合企画総務部長)

■放送事業者側出席者

高田	光浩	(ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)
大川	進	(コンテンツ部課長)
石田	美也子	(コンテンツ部FMチーム主任)
世取山	大輔	(コンテンツ部FMチーム)

4. 議題

番組の放送内容について

審議会冒頭、コエドスタジオから実施した防災ラジオ自動起動試験放送を聴取。事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 審議内容

- ①審議番組「特別番組 栃木市の医療再編整備」(平成28年4月28日放送)
(事務局)とちぎメディカルセンターしもつが院長の村野俊一氏に出演頂いた。
(委員)わかりやすかった。

(委員) 開院直前だったので参考になった。

②審議番組「とち介P(プロデュース)のHAPPYTOWN」(平成28年5月2日放送)

(事務局) 鈴木俊美市長が出演し、熊本地震への支援と新年度予算について紹介。

(委員) 同番組に35分間ほど出演したが意外に短く感じた。また機会があれば出演したい。

(委員) 暮らしに密着したわかりやすい放送になっていて良い。

(委員) 市の担当者は自分の事業、部長職は部全体の事を放送してきたが、まだ出演の無い課長職が出ることによって課の総括として放送が出来るので今後、企画してほしい。

(事務局) 栃木市シティプロモーション課と相談しながら対応していく。

③LIVE ON くらら857 (平成28年4月28日放送)

(委員) イベント情報、ニュースを伝えていると思うが、新聞の記事が多い。ケーブルテレビ(株)が取材している内容との連動はどうなっているか?

(事務局) 市民パーソナリティは街に出て自ら情報収集をしている。今後、報道発表資料なども共有してより多くの話題をお伝えできるようにしたい。

(委員) 行き当たりばったりの印象を受けた。

(事務局) モニタリングしながら、随時パーソナリティへ指導を行っていく。

④その他番組全般について

(委員) 学校関係を取り上げて欲しい。子供たちの話題もなるし、励みにもなる。

(委員) メッセージを送る人が固定化しているのではないか。もっと幅広く送ってもらえるような仕組みで色々な意見をもらえると良い。

(委員) 地震の際、自宅にいて放送を聞いた。とても分かりやすく栃木市の情報が伝えられ良かった。今後、表に出るということも知名度を上げる為に必要だと思う。特に年配者への配慮をお願いしたい。

(事務局) 3月の地域防災訓練放送の際、会場校の先生から「地元ラジオ局の放送に参加させることで、子供たちにも夢を持たせることが出来る」という声をいただいた。今後機会をつくっていきたい。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

FMくらら857ホームページに掲載 (平成28年6月掲載)